

政策 I 重点施策1

Table with 4 columns: Policy, Focus Strategy, Implementation Responsibility, and Responsible Officer.

1. PLAN(展開内容)

Table with 2 columns: Development (展開) and Content (内容).

2. DO(施策を構成する各事務事業の取組内容・今後の方向性)

Main table for Strategy 1, detailing project codes, names, goals, and progress across fiscal years.

3. CHECK(元年度の取組内容など)

Table detailing the implementation status of various projects from the previous fiscal year.

4. ACTION(課題・2年度以降の取組方針)

Table detailing issues and action plans for projects from the second fiscal year onwards.

政策 II 重点施策2

Table with 4 columns: Policy, Focus Strategy, Implementation Responsibility, and Responsible Officer.

1. PLAN(展開内容)

Table with 2 columns: Development (展開) and Content (内容).

2. DO(施策を構成する各事務事業の取組内容・今後の方向性)

Main table for Strategy 2, detailing project codes, names, goals, and progress across fiscal years.

3. CHECK(元年度の取組内容など)

元年度に取り組んだ内容	
事務事業01 防潮壁改良事業 築地東ふ頭地区、昭和ふ頭地区、潮見ふ頭地区の防潮壁改良を行うとともに、大手ふ頭地区、大江ふ頭地区、昭和ふ頭地区、潮見ふ頭地区の土質調査及び設計を行いました。さらに、老朽化対策として、船見ふ頭地区の設計を行いました。また、事業進捗を図るため、国への要望活動を行い、補助事業化が認められました。	
事務事業02 大江川地区地震・津波対策事業 大江川地区締切施設等の新設については、大江川地区の土質調査を行い、地震・津波にも対応する河口部締切護岸の設計業務(事業化基礎調査)を発注し、進めています。また、施設整備にあたって必要となる海岸保全区域の変更手続きを行いました。汚染土壌対策については、名古屋市と協同し、公有水面埋立に向けた環境影響評価や設計を進めています。	
構成事務事業の妥当性	
(見直しが必要な場合、見直しの方向性を記入)	
適正・見直しが必要	

4. ACTION(課題・2年度以降の取組方針)

課題	2年度以降の取組方針
引き続き国への要望活動を行い、事業規模の拡大を図る必要があります。また、防潮壁背後には事務所等が立地し、狭い場所での施工となるため、利用者調整を行いながら事業進捗を図っていく必要があります。	防潮壁の改良は、事業規模の拡大を図るとともに、背後地の利用者調整を進め、整備進捗を図っていきます。
大江川地区締切施設の整備に必要な国の補助事業枠を確保する必要があります。また、周辺関係者との調整を行いながら事業進捗を図っていく必要があります。地震時に汚染土壌が噴出しないよう対策を講じていく必要があります。	引き続き、事業化調査を行い、大江川地区締切施設の整備に必要な国の補助事業枠の確保に努め、関係者調整を行い整備の進捗を図っていきます。汚染土壌を盛土により封じ込めるための設計や、公有水面の埋立に必要となる環境影響評価手続きを進めていきます。

政策Ⅲ 重点施策3

政策	Ⅲ 環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり	施策推進責任者	企画調整室長、建設部長
重点施策	3 にぎわい創出に向けた再開発の推進		

1. PLAN(展開内容)

展開	ガーデンふ頭では、「多くの人々を呼び込むにぎわいの創出」、「人々が長くふ頭に滞在できるくつろぎの場の提供」を基本方針として、民間事業者の資金とノウハウをいかした取組をすすめます。また、中川運河にぎわいゾーンの魅力向上に向けて、覆砂による底層環境の改善や水循環による水質改善などに取り組み、人々が水辺に親しむ機会の創出に努めます。
----	--

2. DO(施策を構成する各事務事業の取組内容・今後の方向性)

コード	事務事業名 (担当課名)	成果目標名 【指標型】	29年度	30年度	元年度	目標値 (5年度)	元年度の状況	元年度実施事業に基づく評価結果			
			上段:成果目標 目標値					2年度以降の方向性	・事務事業の方向性を判断した理由 ・目標年次の変更等の理由 等		
			中段:成果目標 実績値							成果	コスト
下段:事業費(単年度・人件費込・国費除く)											
重施03 事01	ガーデンふ頭再開発の推進 (総合開発課)	ガーデンふ頭再開発の進捗 状況(全3工程) 【進行管理型】	1工程	1工程	1工程	3工程	順調	継続	維持	維持	港のにぎわいの創出に向け、ふれあい・交流拠点であるガーデンふ頭において再開発を推進し、集客力強化や機能向上などを図る必要があるため。
			44,313千円	59,303千円	54,027千円				5年度	取組及び資源(財・人)の投入は 妥当である。現状を維持する。	
重施03 事02	中川運河にぎわいゾーンの魅力向上 (金城・中川・南5区担当、環境担当)	中川運河覆砂進捗状況(全4 工程) 【進行管理型】	1工程	1工程	1工程	4工程	順調	継続	維持	維持	うるおい・にぎわいに寄与する水辺に親しむ機会の創出に向け、にぎわいゾーンの魅力を向上させ、中川運河の再生を図る必要があるため。
			9,504千円	65,815千円	213,792千円				5年度	取組及び資源(財・人)の投入は 妥当である。現状を維持する。	
施策コスト(合計)			53,817千円	125,118千円	267,819千円						

3. CHECK(元年度の取組内容など)

元年度に取り組んだ内容	
事務事業01 ガーデンふ頭再開発の推進 名古屋港水族館との連携や既存施設の利活用の検討、港湾業務機能の移転に向けた港湾関係者との調整、国有港湾施設の取得に向けた国との調整など、基本的な内容の具体化に取り組みました。	
事務事業02 中川運河にぎわいゾーンの魅力向上 老朽化した護岸の改良・補修を実施するとともに、プロムナード整備に向けて基本計画の作成を行いました。また、東支線においては底層改善策の調査および遊休地の保全対策の検討を行いました。	
構成事務事業の妥当性	
「ガーデンふ頭再開発の推進」について、新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら成果目標について見直しも含めて検討します。	
適正・見直しが必要	

4. ACTION(課題・2年度以降の取組方針)

課題	2年度以降の取組方針
再開発の推進に際しては、新型コロナウイルス感染症の影響を注視していく必要があります。また、関係者との調整や民間事業者との意見交換を重ねながら検討していく必要があります。	新型コロナウイルス感染症の影響による社会経済情勢やにぎわいの回復状況を見極めつつ、関係者との調整や民間事業者との意見交換を行いながら、再開発の方向性を再整理し、具体化に向けて取り組みます。
護岸の改良・補修や覆砂、プロムナード整備の円滑な実施に向け、地域の理解を得ながら行っていく必要があります。	地域の理解を得ながら、老朽化した護岸の改良・補修や覆砂、プロムナード整備に取り組みます。

政策Ⅲ 重点施策4

政策	Ⅲ 環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり	施策推進責任者	企画調整室長
重点施策	4 港湾活動のグリーン化		

1. PLAN(展開内容)

展開	照明設備のLED化などの省エネルギーの推進、太陽光等の再生可能エネルギーの利用拡大など、低炭素化に向けた取組を積極的にすすめます。また、船舶の排出ガス規制が強化されることに伴い、インセンティブの活用によりLNG燃料船の入港を促進するなど、LNG/バンカリング拠点形成の支援に取り組みます。
----	--

2. DO(施策を構成する各事務事業の取組内容・今後の方向性)

コード	事務事業名 (担当課名)	成果目標名 【指標型】	29年度	30年度	元年度	目標値 (5年度)	元年度の状況	元年度実施事業に基づく評価結果			
			上段:成果目標 目標値					2年度以降の方向性	・事務事業の方向性を判断した理由 ・目標年次の変更等の理由 等		
			中段:成果目標 実績値							成果	コスト
下段:事業費(単年度・人件費込・国費除く)											
重施04 事01	低炭素化の取組の推進 (環境担当)	新たな再生可能エネルギー の導入に向けた進捗状況(全 4工程) 【進行管理型】			1工程	4工程	順調	継続	維持	維持	第4次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画の目標達成に向け、CO2削減を進める必要があるため。
					33,190千円				5年度	取組及び資源(財・人)の投入は 妥当である。現状を維持する。	
重施04 事02	LNG/バンカリング拠点形成の支援 (企画担当)	情報共有や協議の回数 【単年度管理型】			3回	3回	目標値 どおり	継続	維持	維持	引き続き、LNG燃料船の寄港を促進する必要があるため。
					3回				3,670千円	取組及び資源(財・人)の投入は 妥当である。現状を維持する。	
施策コスト(合計)					36,860千円						

3. CHECK(元年度の取組内容など)

元年度に取り組んだ内容	
事務事業01 低炭素化の取組の推進 本組合施設を対象に再生可能エネルギー導入の可能性について検討し、CO2削減効果やコスト面で、新たな施設整備より、再生可能エネルギー電気の調達に有効であることを確認しました。また、道路照明・庁舎・荷捌き地・上屋の照明設備のLED化について検討しました。名港トリトリアップ設備については今後のあり方を検討するとともに、既存ライトアップ設備の維持補修を行いました。	
事務事業02 LNG/バンカリング拠点形成の支援 LNG/バンカリング拠点形成に向けたインセンティブ(LNG燃料船及びLNG燃料供給船の入港料減免)を創設するとともに、民間事業者との協議を重ね、LNG燃料船の普及並びにLNG/バンカリングのPRを目的とした実証実験を実施しました。	
構成事務事業の妥当性	
「低炭素化の取組の推進」については、令和元年度の検討の結果、CO2削減効果やコスト面で有効な再生可能エネルギー電気の調達を進めることとしたため、それにあわせて成果目標及び工程を変更します。	
適正・見直しが必要	

4. ACTION(課題・2年度以降の取組方針)

課題	2年度以降の取組方針
再生可能エネルギー電気の調達のスケジュール等の検討調整、照明設備のLED化における利用者調整を進めていく必要があります。また、名港トリトリアップについては関係者において方針をとりまとめる必要があります。	本庁舎及び港湾会館への再生可能エネルギー電気の調達に向けて取り組むとともに、その他の施設への導入についても検討を進めます。また、照明のLED化について引き続き取り組んでいきます。名港トリトリアップのあり方について関係者で検討を重ねます。
LNG燃料船及びLNG燃料供給船の令和5年度の目標入港隻数80隻を目指し、まず本港へ円滑かつ安全に入港してバンカリングを実施できる環境を、関係者が協力して整えることが必要です。	LNG燃料船及びLNG燃料供給船の本港への配船の動向を注視しながら、ソフト面やハード面において必要な環境を関係者で協力して整えていきます。